

令和 2年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課

担当名：販売対策担当

内線：4101

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|------|--|------|---|--------|------|---------|------------------------------|-------------|
| B5 | 東京2020大会 彩り豊かな県産農産物でおもてなし事業 | | 一般会計 | 農林水産業費 | 農業費 | 食品流通対策費 | 埼玉農産物ブランド化推進事業費 | |
| 事業期間 | 令和元年度～ 令和 2年度 | 根拠法令 | | | 宣言項目 | 11 | オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化 | |
| | | | | | 分野施策 | 061348 | 郷土の魅力の創造発信 | |
| 1 | 事業概要 東京2020大会で4つの競技会場を有する本県には、大会を機に国内外から多くの観客が来県する見込みである。 そこで、来県者に県産農産物を実際に味わってもらい、その魅力を効果的に伝達するため、競技会場周辺の飲食店において県産農産物キャンペーンを実施する。 併せて、大会終了後も県産農産物を利用していただけるよう実需者に対して働きかけを継続する。 (1)「東京2020大会」食材供給推進事業 △ 100千円 (2)県産農産物利用促進事業 △4,840千円 | | 5 事業説明 (1) 事業内容 ア 「東京2020大会」食材供給推進事業 100千円 「埼玉県『東京2020大会』食材供給推進会議」を開催し、ケータリング事業者やホテルなどの実需者への埼玉県産農産物の販促方法・供給方法等の検討を行う。 イ 県産農産物利用促進事業 5,670千円 県内のホテルや、4競技会場周辺の飲食店において、埼玉県産農産物キャンペーンを開催し、来県者に実際に味わってもらう機会を提供する。 集中的に実施する地域…浦和駅・浦和美園駅周辺 さいたま新都心駅周辺 朝霞駅・和光市駅周辺 川越駅・狭山市駅周辺 (2) 事業計画 ア 「埼玉県『東京2020大会』食材供給推進会議」の開催 イ 埼玉県産農産物キャンペーンの開催（7月～8月・1か月） (3) 事業効果 県民の県産農産物への愛着向上と利用拡大の機運醸成 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 生産者、各生産団体、流通等事業者等と連携し効果的な事業実施を図る。 (5) 補正予算の概要 オリンピック・パラリンピックの延期に伴う事業実施の見送りによる減額 △4,940千円 | | | | | |
| 2 | 事業主体及び負担区分 (県 10/10) | | | | | | | |
| 3 | 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | |
| 4 | 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円 | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | △4,940 | | | | | | △4,940 | 830 |
| 現計額 | 5,770 | | | | | | 5,770 | |